

増を見込む一方、さまざまな投資による経費増とコスト上昇から減益と予想する。18年8月期売上高は10%強の伸びと当初計画を上回り、利益は微増と計画通りだった。繊維事業は糸加工のカシナイロン(同)、織布のカシレーネ(石川県かほく市)、丸編み製造のカシニット(金沢市)、縫製のカシソウイング(同)で構成する。

4月以降、電力費が10%、物流費は10%強上昇している。自主努力策ではコスト削減化プロジェクトを推進しており、機械製造子会社の権製作所(かほく市)の糸検査機や綜統を

盤事業の競争力強化を図る。一方で、プロジェクトXと名付ける衣料、メディカル、環境の3領域に重点を置く新規事業は、育成に向けて積極的な投資を継続する。衣料は、紳士服「ディモーネ」、トラベルグッズ

製品「トゥーアンドフロ」に加え、今年婦人服「コペル」を立ち上げた。自販生地とオートクチュールを融合させたもので、同社が東京都港区に

製品OEM/ODMも手掛ける生地商社の川越政 同型製品・異素材提案が好評 部門連係進展の成果

「エヌ」(小松マテール)を使用した大容量バックパックと、紙製ショッピングバッグをイメージしたトートバッグで、ともに見た目に反して軽量で重い荷物にも耐えられる特徴を持つ。

「同型製品・異素材提案」と名付けて生地種の違いによる製品の出来栄の違いを提案した。製品はデザインもパターンも副資材も全く同じにするなど生地による違いを鮮明にするよう工夫した。例えばカシユアルシャツでは、麻ウール複合、ポリエステル100%、

地加工によっても製品の表情や着用感が全く異なってくるのだが、来場者に新鮮さとインパクトを与えたようだ。川越浩治社長は「あまり生地を知らない人には単純に驚きであるし、生地をよく知る人にとっても製品にして提案すること『製品企画のヒントになる』と好評」と今回の展示手法に手応えを示す。

SDGs時代の指針示す

繊維企業の提案にも注目

環境に配慮した製品やサービスが一堂に会する展示会「エコプロ2018」が6日に開幕した。20回目を迎えた今回は「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」のテーマの下、持続可能な開発目標(SDGs)の考えに沿った新素材提案や各種セミナーが企画されている。繊維企業も地球環境問題に対する指針を示し、来場者の関心を集めた。会期は8日まで。

会場は約550の企業・団体が集い、サステイナブル持続可能な社会の実現に向けた取り組みを紹介している。海洋プラスチック問題に対応した生分解性プラスチックや代替機能製品の展示、植物由来の新素材セルロースナノファイバー(CNF)の最新線などが見どころとなっている。

繊維関連では合繊メーカーのブースに足を止める来場者の姿が目立った。東レは「東レグループ サステナビリティ」

「SDGsの達成に役立つ化学せんい」をテーマに、①エネルギーを節約

そのほかでは、各種オーガニックコットン製品を扱うチチュラルスタイル(大阪府中央区)が肌着やレギンス、ベビー関連製品まで幅広く見せた。衛生用品の大手メーカーであるユニ・チャームは、使用済み紙おむつのリサイクル方法とリサイクルパルプの安全性などを解説し、2020年の製品化を目指すと言った。

展示会では生地そのものの提案は控えめにしたが、密度を粗く織り上げてふんわりとした風合いを際立たせた綿100%の国産4重ガーゼや、切りっ放しでもほつれにくい台湾製のインナー向けナイロン・ポリウレタン複合生地などが、製品を絡ませた提案として好評を得た。

引き続き東京展を13、14の両日、渋谷区のウルトラ・スパー・ニューギャラリーで開く。

引き続き東京展を13、14の両日、渋谷区のウルトラ・スパー・ニューギャラリーで開く。



化繊協会のブースには子供も興味を示す

約550の企業・団体が集い、サステイナブル持続可能な社会の実現に向けた取り組みを紹介している。海洋プラスチック問題に対応した生分解性プラスチックや代替機能製品の展示、植物由来の新素材セルロースナノファイバー(CNF)の最新線などが見どころとなっている。

繊維関連では合繊メーカーのブースに足を止める来場者の姿が目立った。東レは「東レグループ サステナビリティ」

「SDGsの達成に役立つ化学せんい」をテーマに、①エネルギーを節約

そのほかでは、各種オーガニックコットン製品を扱うチチュラルスタイル(大阪府中央区)が肌着やレギンス、ベビー関連製品まで幅広く見せた。衛生用品の大手メーカーであるユニ・チャームは、使用済み紙おむつのリサイクル方法とリサイクルパルプの安全性などを解説し、2020年の製品化を目指すと言った。

展示会では生地そのものの提案は控えめにしたが、密度を粗く織り上げてふんわりとした風合いを際立たせた綿100%の国産4重ガーゼや、切りっ放しでもほつれにくい台湾製のインナー向けナイロン・ポリウレタン複合生地などが、製品を絡ませた提案として好評を得た。

引き続き東京展を13、14の両日、渋谷区のウルトラ・スパー・ニューギャラリーで開く。

引き続き東京展を13、14の両日、渋谷区のウルトラ・スパー・ニューギャラリーで開く。

引き続き東京展を13、14の両日、渋谷区のウルトラ・スパー・ニューギャラリーで開く。

材料から全て米

米・ニューバランス

新しい法律が整備され、同社は新兵が履く靴のために1730万ドルの契約を結び、全体で24万8千足の100%米国製のアスレチックシューズを納めることになった。関税を強化し国内7ノ作りを重視する政策に転換した米